

国旗のデザイン

配送課 山岡 高志

皆さん、世界中に国旗はいくつあるかご存知でしょうか？ 外務省によりますと、平成27年5月の時点で196カ国だそうです。

5月末にグループ会社の旅行で台湾に2泊3日で行かせていただいた時に台湾の国旗を初めて見まして、意外と国名はわかって国旗までは知らない国が沢山あることに気づきました。



台湾の国旗は、こちらです。白黒なので、分かりにくいですが、広い部分が赤地で左上に青地に白の太陽のデザインです。

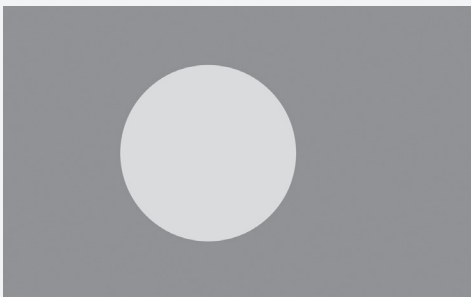
「台湾国旗の由来・歴史・意味」

国旗は辛亥革命を導いた孫文が考案したと言われている。1928年以来、中華民国の国旗として使用されてきた。「青天白日・満地紅旗」、通称「青天白日旗」と呼ばれる。

赤白青は孫文の唱えた三民主義、赤は民族主義（民族の独立性）で自由、青は民権主義（人民が統治する権利）で正義、白は民生主義（人民の社会的平等）で友愛を表している。また、青地に白の太陽は自由と平等の象徴と言われる。12本の光線は、午前午後を二分する12刻あるいは十二支を意味するという。

旅行から帰ってきてから少し気になりネットで色んな国の国旗の画像検索をしていると、各国のデザインや国旗に込められた意味など、なかなか興味深いものがありましたので少し紹介させていただきます。

皆さん日本の国旗はもちろんご存知かと思いますが、日本の国旗にとってもよく似た国旗があることをご存知でしょうか？

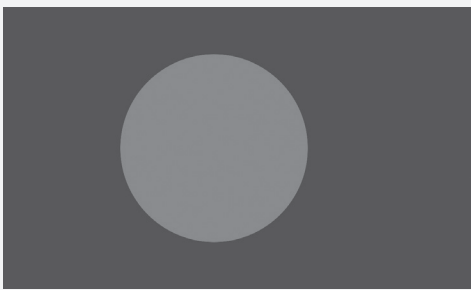


一つ目は**パラオ共和国**です。

日本の国旗は白地に赤の日の丸ですが、パラオは、明るい青地に金黄色の円が配されています。アポロ新聞は白黒なので分かりづらいですが、簡単に言うと日本の国旗の色違いです。

黄金色の円は月を表し、パラオ人の機が熟し独立国となったことを表す。また月はパラオの人々にとって収穫や自然の循環、年中行事に重要な役割を果たしている。明るい青はパラオが広大な太平洋に位置することと共に、過去の異国の統治による影からの脱出を表す。

パラオの国旗のデザインの由来は、日本に関係している等、諸説ありますが、デザイナー曰く「日の丸を知っているが、特別に意識してデザインしたわけではない。日本は日本、パラオはパラオだ」と、言っており正確な由来は分かりませんでした。



2つ目は**バングラデシュ**です。

バングラデシュのデザインもパラオと同じで、日本の国旗の色違いです。緑地に赤丸です。

「赤」は昇りゆく太陽や独立時に流れた血の色を表しています。

「緑」は豊かな自然、農業の発展、若者の意気を表しています。

赤い丸は、日本の国旗のように中央ではなく、やや左寄りに配置されています。これは、旗が風に揺れた時に、ちょうど真ん中に赤い丸があるように見えることを意図したものです。2014年、来日中のバングラデシュのシェイク・ハシナ首相は、父親で初代大統領などを務めたラーマン氏が、独立に伴う1972年の国旗制定時に「日本に魅せられ、日の丸のデザインを取り入れた」との秘話を明かした。バングラデシュの国旗は日の丸とほぼ同じ柄で、豊かな自然を表す緑の地に、独立のために流した血を示す赤い丸が描かれています。

日常で目にする物の中にも、意味や由来を調べてみると、意外におもしろいものが沢山あると思いますので、また気になったものがあれば調べてみたいと思います。

利き手とは逆の手を使うと得られる意外な効果

総務課 北田 文菜



何かをするときにメインで使う手のことを利き手といいます。皆さんは右利きですか？ 左利きですか？

多くの人は右利きかと思いますが、最近は左利きの人を見かけることも多くなりました。中には元々左利きだったのに、小さい頃に左利きは不便だからと利き手を矯正された方もいるのではないのでしょうか。

普段無意識に使っている利き手とは逆の手を使うと、脳の活性化やストレスの解消など様々な効果が期待できるそうです。

私達人間の脳は左脳と右脳に分かれていて、それぞれ違う役割を持っています。

《左脳》
思考と論理を司る役割を持ち
「人間的な脳」と言われる
言語力・計算力・分析力など

《右脳》
知覚や感性を司る役割を持ち
「動物的な脳」言われる
想像力・直観力・空間認知力など

このように私達が生活する上で必要な能力を左脳と右脳がそれぞれ役割分担しており、右手は左脳、左手は右脳を刺激するという関係があります。

このことから、脳を活性化させるには、左脳と右脳の両方をバランス良く刺激することが効果的です。

では、具体的にどんな効果が見込めるのかご紹介します。

ストレス解消や疲労解消・モチベーションアップ

日々の生活の中で左脳または右脳ばかりを酷使していると、疲れが蓄積され疲労感やストレスを感じるようになります。そこで、酷使した脳と反対側の脳を刺激することで右脳・左脳をバランスよく刺激し、ストレス解消やリラックス効果、さらにはモチベーションもアップします。

イライラが軽減され怒りっぽくなる

普段使い慣れていない手を使うことによる不自由さが、脳の酸素消費量を増やし、人間の自制心や平常心を司る前頭葉を刺激し、イライラや怒りの感情を抑制します。

ダイエットや肩こり解消

普段使い慣れていない手でご飯を食べることで時間がかかり、その間に満腹中枢が刺激され、食べる量が少なくなることによってダイエット効果が期待できるそうです。

また、逆の手を使うことで筋肉をバランス良く使うことになり血流が良くなるとも言われています。

このように利き手とは逆の手を使うことで様々な効果を得ることが出来るようです。日常生活に取り入れるには、スマホを打つ、飲み物をスプーンでかき混ぜる、扉を開ける、体を洗う、など毎回行う簡単な動作から取り入れてみてはいいかでしょうか。

参考 <http://various-information99.net/health/1245/>